



第34号 発行日 平成22年12月

日頃、地域医療連携室にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

今月は、上半期の逆紹介状況についてご報告いたします。昨年と比べ、逆紹介率が上昇傾向にあります。

逆紹介が円滑に機能することによって、患者さんのQOLの向上や、より適切な地域医療を保つことができます。

また、病床の有効利用が促進されます。今後も急性期病院として、さらなる逆紹介率の上昇が期待されています。

地域医療連携室 大沢 知佳



逆紹介患者数の推移(月別・科別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
第一内科	28	30	34	53	42	46	40
第二内科	158	128	136	135	130	140	150
外科	22	12	24	15	15	27	32
整形外科	20	20	28	21	18	16	25
皮膚科	5	3	3	3	5	8	3
小児科	4	7	4	7	6	8	11
耳鼻科	7	6	6	4	7	4	9
眼科	26	38	42	101	133	54	61
泌尿器科	8	16	18	13	7	12	16
産婦人科	17	13	12	11	16	7	12
脳外科	31	36	39	28	24	26	38
放射線科	8	7	19	16	18	17	12
心療内科	12	3	9	9	3	8	7
心臓外科	5	5	6	8	5	7	6
形成外科	11	12	12	11	10	8	8
歯科	1	3	0	5	5	1	1
計	363	339	392	440	444	389	431

逆紹介率 (年度別・月別の推移)

(名)

